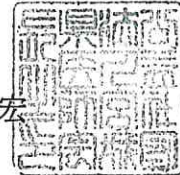


宮城県知事 村井嘉浩 殿

公益社団法人 宮城県医師会
会長 佐藤和宏



新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する要望書

平素は、宮城県の医療関係全般にわたりまして、ご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）問題に関しましては、宮城県としても、鋭意かつ迅速に対処いただいていることに感謝いたしますとともに、さらに以下の点につきまして、要望いたします。

1. 令和2年3月末になって、宮城県の感染者の増加が見られます。現在の状況は、緊急事態宣言の指定地域ではないと思いますが、県独自に緊急事態宣言を出すこともご検討願います。
2. 宮城県知事が緊急記者会見を行えるよう企画をお願い致します。県民に対して、感染拡大防止のために、夜間の外出自粛などの行動変容を強く要請して頂きたいと思います。宮城県医師会長として、陪席し追加意見も述べたいと思います。
3. 東京を含む首都圏からの里帰り（疎開）者が増加することが予想されます。そのことが、感染者増加の一要因となると考えられますので、対策をお願いします。
4. 宮城県の医療界は、役割分担をして、県民の健康を守るために一致協力して活動したいと思います。
そのためには、
 - 1) マスク、消毒液、防護用品などの必要な医療用品を不足なく供給し、医療者が安心して医療を行えるよう配慮願いたいこと
 - 2) 医師が必要と認めた場合は、遅滞なくPCR検査を行うこと。現在は敷居が高く、限られた件数しか検査できない状態である

- 3) 入院医療体制、設備などに関して、行政が責任を持って調整すること。
仙台市内の感染症指定病院のベッドが満床になった場合、仙台市以外の指定病院へ回すのか、軽症者の収容施設は検討しているのか、宜しくお願ひしたい
 - 4) 医療人、医療機関への風評被害を防止し、院内感染などによる休業や一部閉鎖などに関して、国と連動して補償を検討すること
 - 5) 医師は患者さんを診るのが仕事である。しかし、今回の感染症は、迅速な診断キットもまだなく、また有効な治療薬もない状態での診療となっている。医療人も前例のない緊張感の中で対処していることに是非ご理解をいただきたい
 - 6) コールセンターや保健所の人数を増やしていただきたい。現場の第一線での活動を重要視願ひます。
5. 医師会は今後とも、県行政と協力してこの難局に向き合いたいと思っております。情報の共有をお願ひし、素早い対応をお願ひ致します。

担当：宮城県医師会事務局 総務課

TEL：022-227-1591

FAX：022-266-1480